

新教科「現代への視座」

■5年：クリティカルシンキング

(1) 科目の概要

現代社会の諸問題について論じた評論文を読むことを通じて、問題そのものを理解するとともに、その問題に関する筆者の考察の進め方と、提案されている主張や解決案について理解を深める。さらに、現代社会の諸問題について、自分なりの主張や解決案を考えていく。

(2) 「クリティカルシンキング」の目標

現代社会の諸問題について論じた評論文を的確に理解し、自分の理解したことや考えたことを適切に表現する能力を高めるとともに、人間、社会、自然などについてクリティカルに考えて、ものの見方、感じ方を広げようとする態度を育てる。

(3) ねらいとする能力・態度

クリティカルシンキングの育成をねらいとする。クリティカルシンキングを、次の能力・態度からなるものと考えている。

(論理的思考力) 根拠にもとづいて、意見を主張する能力。また、主張を適切な論理に基づいて導く能力。

(多面的・総合的思考力) 同一の問題について、自分の立場とは異なる、他の立場からの主張もありうることを想像する能力。また、他の立場の根拠や主張も参考にしながら、自らの考えを練り上げる能力。

(評価力) 自他の考えについて、論理的に適切であるかどうか、また多面的・総合的に考えられたものであるかどうか判断し、価値づける能力。

(4) 授業展開及び教材の工夫

- ・教材文を読むことに加え、意見文や批評文を書くなど、自分の考えを表現する活動を行う。根拠に基づいて主張すること、適切な論理に基づいて主張を導くことを通じて、論理的思考力の育成をはかる。
- ・自分の考えを表現する活動に加え、学習者同士で交流する活動を取り入れる。お互いの意見文や批評文を読み合い、相手の優れたところを参考にすることを通じて、多面的・総合的思考力と評価力の育成をはかる。
- ・同じ問題を論じている、異なる筆者の評論文を集めて、教材化し、単元を構想することによって、多面的・総合的思考力と評価力の育成をはかる。同じ問題でも、異なる立場や領域からの考えがありうる。さらに、現代社会の諸問題は、多くの解決案の中からより妥当な解決案を見いだすことで解決に向かうことを、学習者は理解することができる。

(5) 学習指導要領との関係

学習指導要領の「現代文B」では、指導事項として「文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること」と「文章を読んで批評することを通じて、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること」があげられている。

「クリティカルシンキング」では、自分の考えを表現する活動の中で、論理的な表現について指導する。また、それを交流し合う活動の中で、社会の諸問題について多面的に考えるよう指導する。これらの「クリティカルシンキング」の指導事項は、「現代文B」の指導事項と重なるものである。

(6) 年間指導計画 (35時間扱い)

月	単元名	学習のテーマ・ねらい	学習の具体的な内容
4	・ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・「クリティカルシンキング」で取り扱う内容や目標について理解する。 ・評論文キーワードマップを用いて、現代社会にはどのような問題があり、どのようなキーワードで論じられているかについて理解する。 ・クリティカルシンキングについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新科目「クリティカルシンキング」について、テキストの目次を参考にして、内容の大体を理解する。 ・テキストの評論文キーワードマップを参考にして、現代社会をめぐる諸問題と、その問題を論じるためのキーワードについて理解する。 ・ねらいとする能力・態度としてのクリティカルシンキングについて、大体を理解する。
5	・「自己と他者」	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や自意識について論じた文章を読んで、自意識について考える。 ・自己と他者とはいかなる関係にあるのか、異質な他者とどのように向き合っていくのかについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鷲田清一「〈わたし〉の夢」、細見和之「I was born」、竹田青嗣「他者という存在」、竹田青嗣「ロマンと現実」を読む。 ・「他者」が「自己」に与える影響について整理し、これらの文章を読んで考えたことを踏まえ、自身のもつ自意識について書き、読み合う。
6			<ul style="list-style-type: none"> ・小熊英二「神話からの脱却」、齋藤純一「自由と公共性」を読む。 ・「他者」との関わりにおいて私たちが陥りがちな対応の仕方についての指摘と提言を読み取り、その必要性や困難性について書き、読み合う。
7			
9	・「言語」	<ul style="list-style-type: none"> ・言語と人間や社会の関係について論じた文章を読んで、言語について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・奥田信治「標準語から「ネオ方言」へ」、茂木健一郎「自然言語による思考の意義」、リービ英雄「母国語と外国語」を読む。 ・言語が人間や社会に与える影響について理解を深め、自らの考えを意見文にする。
10	・「科学技術」	<ul style="list-style-type: none"> ・科学者の書いた文章を読み、現代を生きていく人間の在り方、これからの課題を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長尾真「自然科学と社会」、村上陽一郎「科学と倫理」、村上陽一郎「科学の限界」、長谷川真理子「意志決定の誤り」を読む。 ・「科学とは何か」、「科学の有効性」、「科学の問題点」、「科学技術が人間に与える影響」について整理し、「科学技術」といかに付き合っていくのか、自分の考えを書き、読み合う。読み合った文章についてもその妥当性について意見を出し合い、理解を深める。
11			
12			
1	・「環境問題」	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題について論じた文章を読み、環境問題についての理解を深め、どのように対応していくべきかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐伯啓思「グローバル化と環境問題」、岩井克人「私的所有と環境問題」、加茂直樹「環境問題と人類の利己主義」を読む。 ・環境問題の解決に向けて、それぞれの筆者がどのような提案をしているのかを整理した上で、これらの提言に対する自分の考えを書き、読み合う。
2			
3			